

プライベート・エクイティ投資のリターン、上場株で再現－GS Plusプライベート・エクイティ・リターン・トラッカー・インデックス

2026/09/01 05:00 日経ヴェリタス 1169文字

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの「GS Plusプライベート・エクイティ・リターン・トラッカー・インデックス」は、上場株への投資を通じてプライベートエクイティ（未上場株＝PE）に類似した投資成果を目指すインデックスファンドだ。ファンドの特徴や狙いを中村雅之投信営業部長に聞いた。

――投資信託の特徴を教えてください。

「国内外の上場株を組み合わせて、PE投資に近いリターンを目指す投信だ。PE投資は高いリターンが期待できる一方で、投資期間が長く、最低投資額も大きい。流動性の制約もある。この投信の想定投資家は、PE投資には関心があるものの、コスト（実質信託報酬は年0.7981%程度）や流動性を重視する個人だ」

「直接の投資先は『MSCIワールド・プライベート・エクイティ・リターン・トラッカー・インデックス』に連動する上場投資信託（ETF）だ。PE投資に類似したリターンを目指す」

――MSCIの指数はどうやってPE投資のリターンに近づけているのでしょうか。

「PE投資のリターンは大きく3つに分けられる。①国・業種②バリュエ（割安）やグロース（成長）などの投資スタイル③PEの個別ファンド独自のもの、だ。MSCIの指数では『国・業種』と『投資スタイル』から得られる2つのリターンの再現を目指している」

「具体的にはMSCIがデータを持つ8万5000社以上のPEファンドの投資先企業を対象に、投資戦略と投資地域で6つに分ける。投資戦略はバイアウトとベンチャーキャピタルの2つ、投資地域は北米、欧州・中東、太平洋の3つだ」

「6つのカテゴリーそれぞれに入る未上場企業の特徴を、国・業種と、投資スタイルで分析した上で、上場株のロング（買い持ち）とショート（売り持ち）を組み合わせて再現する。バイアウトであれば割安な大型株が多くなり、ベンチャーキャピタルであれば成長期待の高い中小型株という特徴がある。最後に6つのカテゴリーをPEの運用資産の規模に応じて組み合わせる」

――指数ではPE投資のリターンのどの程度を再現できるのですか。

「2006年12月から25年3月末までの期間を対象にした試算では、MSCIワールドIMI指数は年率7.0%のリターンなのに対し、PE投資のリターンを目指すこの指数は9.9%だった。実際のPEファンド全体のリターンは12.2%だった」

「指数はPE投資全体のリターンの再現を目指している。有望なPEマネジャーや特定戦略の再現を目指す目的で、国・地域や投資スタイルを偏らせた集中投資はできない。現状、指数全体としては小型とグロースへのバイアスが若干あるが、こうした特徴はPEファンドの投資先企業次第で変わりうる」

ファンドウォッチ 投資信託をどう選ぶか。ファンドマネジャーへの取材やデータ分析で探る。原則毎週火曜に公開
【関連記事】

- ・インフレ耐性銘柄に重点 AI影響大きい発電は避け送配電に投資
- ・ロボアド、10年で資産4倍超も 主要サービスの運用成績比較
- ・事業構造の改革に注目 対話で収益力向上の果実狙う
- ・AI相場、メモリー銘柄にしぼりリスク管理 あえてSBGに投資せず
- ・26年上期の投信資金流入額が過去最高 「オルカン」は2兆円超

許諾番号NK004431 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.